

## 目標指標検討のポイント（第6回会議）

## ◎アドバイザーからのメッセージ（これまでの抜粋）

- できるだけ現実的&具体的な目標
- 全体での統一的な基準：「みなさんが5年後までにせめて実現したいと考える水準」
  - ・どの程度の目標が良いか？
    - (1) 現実的・低すぎる → やる気が刺激されない（現状維持）
    - (2) 非現実的・高すぎる → 「絵に描いた餅」、達成されないまま形骸化  
→ 「低すぎず、高すぎない」：2つの間でのバランス感覚が重要

## ◎目標値について

参考とする資料：第4回配布「基礎資料：目標指標に対する進捗状況（H29・8月時点）」

- 基準の考え方：「みんなでがんばれば届きそうな水準」 → 目標値＝希望値
  - × 高すぎる（目標値≠理想値）
  - × 低すぎる（目標値≠現実値）

## ◎指標項目について

参考とする資料：第3回配布「資料8：目標指標の参考例」

- 現行の基本計画にある指標：引き続き使える。過去の実績（推移）がわかる。
- 市の総合戦略にある指標：指標として使える。
- 他市で使われている指標：多くの市で使っている場合、使える可能性が高い。

## ◎横のつながりについて

「現状や課題 ⇔ 望ましい取組や連携 ⇔ 目指す姿・目標指標」が、それぞれ横につながっているか確認し、全体を調整します。